

CONTENTS | 目次

01 まちづくり活動支援	P.1	02 密集市街地まちづくり活動支援	P.2
03 近隣センターまちづくり	P.3	04 環境共生型まちづくり事業	P.4
05 土地区画整理支援	P.5	06 市町村道路施設点検等支援事業	P.6
07 市町村職員技術支援 / 公共空間まちづくり活用支援事業	P.7	08 大阪北摂霊園 / 駐車場の運営	P.8

まちづくり活動支援(公益目的事業)

まちづくりセミナー・アドバイザー交流会〈第1回〉を開催しました

令和8年7月31日(金)、大阪産業創造館及びβ本町橋において、「令和8年度まちづくりセミナー・アドバイザー交流会」を当センター主催、大阪都市計画局共催により開催しました。

セミナーでは、令和7年度に当センターの助成を受けたまちづくり活動団体から、活動成果や取り組み内容についてご報告いただき、報告会終了後には、まちづくりアドバイザーとの情報交換や参加者同士の交流を深める場として、交流会(懇親会)を開催し、ネットワークづくりを図りました。



当日資料

官民連携と担い手育成が重要！

活動成果報告会では、多様な実践事例を通じて、地域主体のまちづくりを進めるうえで、官民連携と担い手育成の重要性が共有されました。

＜ご報告いただいた活動団体＞

大阪木材コンビナートまちづくり部会 ・ 修斉地区市民協議会
難波千日前日本橋まちづくり協議会 ・ 北新地みらい会議
石橋阪大前駅周辺まちづくり協議会



パネルディスカッション



アドバイザー交流会

まずは身近なテーマからスタートしよう！

「大阪のまちづくりのこれから」をテーマとしたパネルディスカッションでは、大学、民間、行政の立場から意見交換を行いました。

議題抜粋：「まちづくりの始め方が難しい…。」

- ▶ 防災や公共空間活用など、身近な課題を入口にする
- ▶ 小さな実践を積み重ねる
- ▶ 地域の担い手を増やし、活動の継続につなげる

＜登壇者＞

大阪公立大学/高木悠里 様 ・ ㈱地域計画建築研究所/羽田拓也 様
㈲ハートビートプラン/岸本しおり 様 ・ 大阪都市計画局/亀元靖彦 様

～参加者のご意見 抜粋～

- ・ 実践者の報告と専門家のノウハウが具体的で大変参考になりました。
- ・ 活動団体の主体性と継続性を重視する姿勢から知見を得られました。
- ・ さまざまな合意形成の方法を、具体的に学ぶことができました。

当センターでは、まちづくりに関する情報提供や相談支援を行っています。

地域の課題や取り組みに関するご相談がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先：まちづくり支援課 TEL:06-6262-7724

防災街区整備事業等面整備の事業化に向けた取組みをスタート

今後の密集市街地対策として、これまでセンターが培った、まちづくりの知識やノウハウを活用し、「民間活力を誘発するまちづくり」を進めるための市街地リノベーション(面整備等)に関して、官民連携の要となるコーディネート機能を発揮しながら、関係市への支援を行い、危険密集の残り1割の確実な解消とともに、良質で魅力あるまちづくりを推進していきます。

令和8年7月27日(月)に危険密集が残る関係市を対象として、防災街区整備事業の合同勉強会をスタートしました。今後、勉強会を重ね、本事業の制度・手続き等への理解を関係者とともに深め、事業の実施に繋げていきます。

〈内 容〉

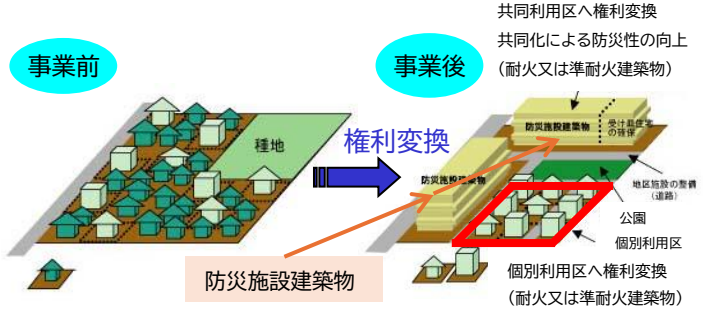
- ・都整センターの取組みと東京の事例紹介(都整センター)
- ・寝屋川市東大利町(A街区)の事業中地区の事例(寝屋川市)
- ・官民のパートナーシップで取り組む防災まちづくり(株)ユーデーコンサルタンツ)
- ・意見交換会(質疑・応答)
参加市：豊中市、寝屋川市、門真市など

主な議論など

合同勉強会では、条件整理段階における事業地区に至った経緯や権利床と保留床の割合など初動期の対応や実務者レベルの事業の進め方、課題等について活発な意見交換が行われました。

【防災街区整備事業の概要】

平成15年に密集法に位置付けられた都市計画法に基づく事業で、区画整理と再開発の双方の利点を有し、権利者の意向にきめ細かく対応でき、柔軟な区域設定が可能な手法



出典:国土交通省HP参照(一部加工)

寝屋川市東大利町(A街区)防災街区整備事業



【施行区域図】

出典:寝屋川市東大利町(A街区)防災街区整備事業組合

- 〈経 緯〉
- 令和4年9月
防災街区整備事業
準備組合を設立
 - 令和7年5月
防災街区整備事業
組合を設立
- 〈事業概要〉
- 区域面積:約4,000㎡
 - 敷地面積:約3,000㎡
 - 土地所有者数:20名
 - 借 地 権 者数:3名
 - 借 家 人 数:39名



門真市古川橋駅北側のまちづくりを学ぶ「現地視察研修会」を開催しました

門真市及び光亜興産(株)の協力を得て、賛助会員を対象とした研修会を開催しました。今後も視察研修や情報共有、連携機会の創出などの取組みを展開し、賛助会員の皆様とまちづくり分野での連携の強化を図っていきます。

【研修会の概要】

- ・開催日:令和8年8月28日(金)14時30分～16時30分
- ・会 場:門真市立文化創造図書館 KADOMADO内
- ・参加者:賛助会員 9社(15名)
 - ・ 都整センターの取組みについて
 - ・ 門真市古川橋駅北側のまちづくりについて(門真市)
 - ・ 地域との信頼から生まれるエリアマネジメント(光亜興産(株):賛助会員)
- ・ 会場屋上から周辺の密集市街地の現地視察と施設見学



研修会の様子

〈賛助会員一覧〉



光亜興産(株)
山田様のご講演

密集topic

韓国の政府出捐研究機関(建築空間研究院:研究委員ジャン・ミンヨンさん他3名)と密集市街地対策や住民主体のまちづくり支援について令和8年5月28日(木)に意見交換を実施しました。内容については、右のQRコードよりアクセスしてください。



近隣センターの再生・活性化に向けた取組み

◆引継ぎに向けた支援 ～桃山台近隣センター～

桃山台近隣センターは、昭和47年に開設されて以降、地域の身近な生活拠点として、長年にわたり地域住民の日常の生活を支えてきました。

現在、当センターが維持管理を行っていますが、今後のまちづくりを見据え、堺市や地元の方々とともに近隣センターの今後の方向性を共有しながら、円滑な引継ぎに向けた取組みを進めています。

その一環として、近隣センター内の環境整備工事を実施しています。本工事では、地元の方々の声を聞きながら、引継ぎ後も地域の皆様に安心して利用いただける近隣センターとなるよう、駐車場内の安全性や利便性の向上を図るため、車の流れの円滑化に向けた整備を実施しています。加えて、自治会館から商店街へ通じるスロープについても、現在の基準に適合した仕様となるよう、工事を進めています。

今後、これらの工事が完了した後、堺市への引継ぎを予定しています。近隣センターの再生・活性化に向けて、堺市と連携しながら引き続き取組みを進めていきます。

◆引継ぎ後の活用事例 ～高倉台近隣センター～



高倉台近隣センターの様子

泉北ニュータウンの近隣センターで初めて土地区画整理事業が行われた高倉台近隣センターでは、府営住宅跡地やオープンスペースから創出された土地を活用し、令和7年8月には核テナントとなるスーパーマーケットが新たにオープンしました。同年10月には高倉台地域会館が完成するなど、近隣センターの再編が進み、地域の生活利便性が向上しています。また、府営住宅活用用地には、高性能ZEH住宅が整備予定となっており、脱炭素のまちづくりに向けた取組みが進められています。



堺市 高橋推進監 / 澤田参事 / 伊丹様

～堺市泉北ニューデザイン推進室の声～

堺市高倉台近隣センター土地区画整理事業が行われた背景には、堺市において「近隣センター再生プラン」を策定し、近隣センターの再生に向けた検討を進めてきた経緯があり、その中で、地元住民より「府営住宅がなくなること、近隣センターの利用者も減少するのではないか」という危機感が示され、高倉台近隣センター再生・活性化を考えるきっかけの一つとなりました。また、同時期に当センター(当時、大阪府タウン管理財団)からオープンスペースの無償譲渡があり、その土地を活用することで、事業を進めることができました。

近隣センターには、店舗だけでなく、地域会館やバス停などがあり、地域コミュニティや日常生活を支える重要な役割を担っています。今後は、高倉台近隣センターにおけるまちづくりの事例や仕組みも参考にしつつ、各住区の関係者と連携し、時代の変化に対応した近隣センターの機能強化の取組みを推進し、地域のQOLの向上を目指します。

千里ニュータウン活性化の取組み

～豊中市域 新千里南町近隣センター～

豊中市、大阪大学、地元管理組合、当センターの4者が連携して活性化に向け、秋祭りで地域の交流やにぎわいにつながる取組みを予定しています。

～吹田市域 高野台近隣センター～

地元権利者で構成された検討会を当センターが支援しており、近隣センター再生・活性化へ向け、吹田市・検討会・当センターとの意見交換会を実施しました。再整備の可能性や活用地の活用など近隣センターに必要な機能や、今後のあり方について検討を進めています。



新千里南町秋祭り実施イメージ図

ちきりアイランド人工干潟観察会

令和8年5月17日(日)、7月26日(日)、ちきりアイランドにおいて、きしわだ自然資料館、共和海建グループ、一般社団法人大阪湾環境再生研究・国際人材センターコンソーシアム・コア主催(当センター協力)の干潟観察会が開催され、市民や立地企業の従業員のご家族など、多くの方が参加されました。

【観察会の概要】

- ・開催日：令和8年5月17日(日)、7月26日(日)
- ・参加人数：5/17⇒158名(岸和田市 佐野市長もご参加)、7/26⇒137名
 - ・干潟の生きもの採取・観察・同定
 - ・清掃活動



海や生き物との触れ合いを通じ、ちきりアイランドで進む自然再生の状況を実感いただけたものと考えています。今後とも、子ども向けの「生きもの観察ノート(右)」を配布する等、地域主体の干潟保全活動を支援していきます。



ちきりアイランドまちづくりプラットフォーム発足会

令和8年10月6日(火)、当センターがちきりアイランドで活動する団体等の情報発信・意見交換・連携強化を図るために設置した『ちきりアイランドまちづくりプラットフォーム』発足会を開催しました。

【発足会の概要】

- 出席：参画団体24団体のうち19団体
港湾管理者大阪港湾局、関係自治体岸和田市

○主な議事

- ・プラットフォーム設立趣旨
- ・参画団体の取組み紹介
- ・今後のプラットフォームの活動等に係る意見交換
- ・『第45回全国豊かな海づくり大会』岸和田会場におけるブース出展による情報発信と協力依頼
- ・閉会にあたり、第45回全国豊かな海づくり大会大阪府実行委員会の副会長としてご尽力頂いている大阪府漁業協同組合連合会 岡代表理事会長よりお言葉を頂きました。

様々な団体が一堂に会したのは初めての試みであり、今後、プラットフォーム活動を通じ、将来像実現や地域活性化に寄与してまいります。



X(旧Twitter)
ちきりアイランドまちづくり

『第45回全国豊かな海づくり大会』岸和田イベント会場にちきりアイランドを紹介するブースを出展します

令和8年11月14日(土)・15日(日)に、初めて大阪府で『全国豊かな海づくり大会』が開催されます。本大会は水産資源の保護・管理と海や湖沼、河川の環境保全の大切さを広く国民に訴えるとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて漁業の振興と発展を図ることを目的とした国民的行事の一つです。

当センターでは、関連行事として、岸和田会場において、まちづくりに取り組む様々な活動団体の方々と連携し、ちきりアイランドの概要や環境保全活動等を紹介するパネル展示や動画上映、生きもの缶バッジの配布などを行い、大会を盛り上げるとともに、多くの府民・市民・企業の方々にちきりアイランドを知っていただく取組みを進めていきます。



お問い合わせ先：阪南事業所 TEL:072-431-1793

大阪府土地区画整理組合連合会(大阪府連) ～土地区画整理事業をめぐる情報交換を行いました～

令和8年7月8日(水)、当センターが事務局を担う大阪府土地区画整理組合連合会(大阪府連)は、プリムローズ大阪にて令和8年度総会及び協議会を開催しました。総会には、11組合から40名の組合関係者、府及び7市から20名の行政関係者など、総数81名が参加しました。

新役員の選出



(左)山本忠行 会長 (右)花田優 監事

視察研修会

<会員等28名が参加>

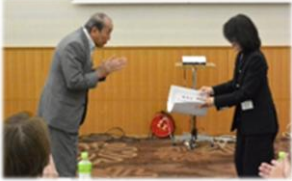
『岸和田市丘陵土地区画整理事業』の現地視察をし、活発な意見交換を行いました。
これまでの視察で得た知見は、現在のまちづくりにも活かされています。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



感謝状の贈呈

・『門真市幸福東土地区画整理組合』へ感謝状が贈られました。

・『茨木市南目垣・東野々宮土地区画整理組合』が、大阪府まちづくり功労者及び国土交通省まちづくりアワードを受賞されたことが報告されました。



協議会での講演

・国土交通省近畿地方整備局建政部 小澤都市整備課長より『都市行政及び土地区画整理事業に係る最近の話題』について講演いただきました。

・門真市より『幸福東地区のまちづくり』について講演いただきました。



市街地再開発を新たなテーマに加え、学びと交流の場を拡充

令和8年8月4日(火)、エル・おおさかにおいて、大阪都市計画局主催、当センター共催による「令和8年度市街地整備セミナー」を開催し、27市町村64名の市町村職員にご参加いただき、自治体間のネットワークづくりの場としても有意義な機会となりました。本セミナーは、市街地整備に関する制度や事例を幅広く学べる場として開催しています。



<意見交換会の様子>

土地区画整理事業2グループ、市街地再開発事業2グループに分かれて、担当者がそれぞれの取組みや課題について活発に情報交換を行いました。

アンケート抜粋

- ◆「各市の課題等について、ざっくばらんに意見交換できる良い機会だった」
- ◆「市町村の実情が聞けて参考になった」

セミナーのテーマ

<大阪府からのお知らせ>

- ①脱炭素まちづくりに 向けた取組みについて
- ②まちづくり活動支援制度について

<市町村担当職員向け市街地整備手法の紹介>

- ① 土地区画整理手法を活かしたまちづくり
松原市におけるまちづくり(新堂4丁目地区ほか)
- ② 市街地再開発手法を活かしたまちづくり
豊中市におけるまちづくりの事例
(新千里東町近隣センター地区第一種市街地再開発事業)
- ③ 都市再生整備計画事業の まちづくり
門真市古川橋駅北側のまちづくりの取組みについて

今後も引き続き開催していきますので、今回参加できなかった方も、ぜひ来年度のご参加をご検討ください。皆さまのご参加をお待ちしています。



26市町村、約1,000橋の橋梁点検業務等を確実に実施します



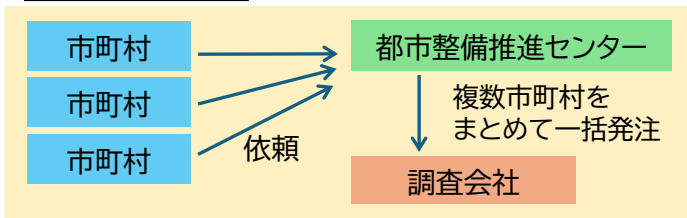
当センターでは複数の市町村からの依頼を受けて道路施設の点検業務の一括発注を行っています。

令和8年度は群マネ※として初めて取り組む照明灯やカーブミラー等の道路附属物点検を含め、橋梁(992橋)、トンネル(2箇所)、コンクリート構造物(14箇所)、道路附属物(897基)、路面性状調査(10km)の点検業務を進めています。

※群マネ:複数の自治体のインフラをまとめてマネジメントする手法

橋梁点検研修や技術的なアドバイスをを行い、スキルアップのためのサポートも実施していますので是非、ご活用ください。

一括発注の仕組み



これまでの実績

実施年度		橋梁数
点検1巡目	平成27～30年度	2,816
点検2巡目	令和元～5年度	3,848
点検3巡目	令和6～7年度	1,918

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラムの パネルディスカッションに登壇しました

インフラメンテナンス国民会議は産学官民が連携してインフラの維持管理を推進するプラットフォームとして平成28年度に設立され、インフラメンテナンスに関するシンポジウム等を実施しています。

5月のシンポジウムでは、インフラメンテナンスをより身近なものとして考えるきっかけづくりとして、インフラメンテナンスを医療現場に置き換えて考えることをテーマにパネルディスカッションを行い、当センター職員も登壇しました。

今後も積極的に参画し、当センターの取組みを広くPRするとともに、先進事例の情報収集等を行い、維持管理連携プラットフォーム勉強会での議論に役立てていきます。



参考HP



維持管理連携プラットフォーム勉強会を開催します



令和8年度 北河内地域の実施状況

昨年度に立ち上げた勉強会では、大阪府と連携し、顔が見える関係づくりを第一に市町村職員が維持管理上の課題を共有し、地域課題解決に向けて討議、意見交換等を実施しています。

参加者からは「他自治体の動向や意見が聞けて参考となった」「定期的に開催してほしい」等の声があり、好評を得ています。

今年度も府内7地域で実施し、さらなる連携強化に取り組んでまいりますので積極的なご参加をお待ちしています。

令和8年度の実施予定(出前型技術力向上研修の後に開催)

北河内地域(9/2) 中河内地域(9/7) 泉北地域(10/1)
泉南地域(10/7) 豊能地域(10/15) 南河内地域(10/27)
三島地域(11月頃)



参考HP

群マネtopic

泉州地域における群マネをよりダイナミックに推進するため、当センターを含む関係17団体により、「泉州地域の公共インフラ分野における広域連携に関する協定書」を10月末に締結する予定です。

令和8年度市町村職員技術研修のご案内

当センターでは市町村職員の技術力向上を目的とした研修を実施しています。

主に大阪市内で実施する「基礎的技術研修」に加え、より参加してもらいやすい環境づくりのために大阪府内7地域に設置している維持管理連携プラットフォームを活用して「出前型技術力向上研修」を7土木事務所で実施しています。是非、ご参加ください。

基礎的技術研修(有料)

開催日	研修名
実施済	災害復旧・査定講座
実施済	土木積算の基礎講座
実施済	公共測量の基礎講座
実施済	道路・公園の樹木管理講座
10/22 10/29 10/30	ドローンの基礎と操縦講座 (座学・実技)

出前型技術力向上研修

開催日	地域	研修名
9/2	北河内	工事監督業務の基礎講座
9/7	中河内	土木構造物(コンクリート)の基礎講座
10/1	泉北	土木構造物(鋼構造)の基礎講座
10/7	泉南	橋梁メンテナンスの基礎講座
10/15	豊能	インフラマネジメント講座
10/27	南河内	舗装の基礎講座
11月頃	三島	土木施工管理講座

お問い合わせ先:市町村技術支援課 TEL:06-6262-7670

公共空間まちづくり活用支援事業(公益目的事業)

「此花西部臨港緑地エリア水辺賑わいづくり」整備に着手

此花西部臨港緑地エリアを含むベイエリアは、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンや海遊館があり、夢洲では統合型リゾート(IR)を含む国際観光拠点形成が進んでいるなど、大阪・関西全体の水辺の賑わいを押し上げる役割を期待されている区域です。

そのような中、令和3年12月、此花区長を会長、大阪港湾局長を副会長とした「此花西部臨港緑地エリア水辺賑わいづくり協議会」が設立され、当センターは同協議会に事務局として参画し、公共空間まちづくりのサポートを行っています。

公募によりエリア東側区間の事業者を合同会社桜島開発に決定していましたが、令和8年10月からの整備工事を前に、9月28日には此花区内にある産土神社で、安全祈願祭が執り行われました。

また、エリア西側区間でも9月9日から事業者募集を実施中で、令和8年中に事業予定者を決定する運びです。



安全祈願祭の様子

■公共空間を活用したまちづくりの事例「中之島バンクス」



中之島バンクスは、堂島川において「都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例」を活用し、河川敷に賑わいを創りだしたもので、センター、府、民間事業者の三者が連携して実施しています。

事業者である株式会社社長古堂による賑わい施設の運営だけでなく、日頃は散策のできる遊歩道空間として地域の皆さんにも愛される場所となっています。

当センターでは、公共空間を活用したまちづくりを支援しています。ご担当者様は、お気軽にご相談ください。



お問い合わせ先:まちづくり支援課 TEL:06-6262-7724

樹木葬エリア「めぐりの森」を新たに整備

大阪北摂霊園は明治の森箕面国定公園に隣接し、自然環境に恵まれた場所に位置しています。北摂の豊かな自然に囲まれた眺望豊かなエリアに令和7年10月から整備を進め、このたび新たな樹木葬エリアとして「めぐりの森」を令和8年10月にオープンいたしました。

樹木が静かに佇み、大地に還るという想いを大切した、これからの時代に寄り添う樹木葬です。北摂の山々を望む眺望と四季折々の植栽を楽しめるほか、散策いただける園路や休憩スペースを整備し、ゆったりと過ごせる憩いの場となるように環境を整えました。

静かに想いをつなぐ場所として、これからも多くの方々に寄り添っていきます。



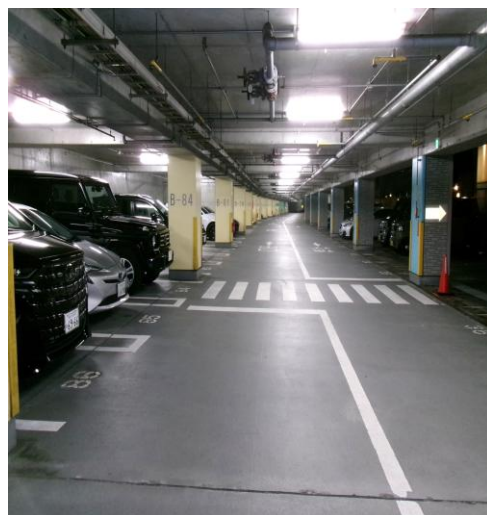
お問い合わせ先: 霊園事業課・霊園企画課 TEL: 06-6871-0577

駐車場の運営(収益事業)

天満八軒家駐車場「夜間定期利用者」の募集を開始

当センターは、地域に愛される駐車場を目指して、利用者サービスの向上と快適な環境づくりに取り組んでいます。その取組みの一環として、天満八軒家駐車場では、夜間の空き区画を有効活用するとともに、利用者の利便性の向上を目的として、夜間定期利用者の募集を開始しました。

＜天満八軒家駐車場＞
所在地: 大阪市中央区北浜東1-2



当センターでは、河川敷や高架道路下の公共空間を活用し、周辺の駐車需要や自動車交通の利便性向上に対応するため、自動車・バイクの駐車場を整備・管理運営しています。



お問い合わせ先: 駐車場事業課 TEL: 06-6262-7720